

2019（令和元）年度事業報告書

（事業活動の状況の概要及びこれに関する数値のうち重要なものを記載した書類）

自 2019（平成31）年4月 1日
至 2020（令和 2）年3月31日

公益社団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム

目次

1	事業業績の概要	p. 2
2	自己点検・評価結果	p. 4
	(1) 公益目的事業の評価	p. 4
	(2) 収益事業の評価	p. 6
	(3) 法人の管理運営	p. 7
3	公益目的事業の業績	p. 8
	(1) 教育学習事業：多彩な学びの場を市民に提供する事業	p. 8
	(2) 人材育成事業：まちづくりの担い手を育成する事業	p. 15
	(3) 地域発展事業：生活・文化・福祉・産業の発展に寄与する事業	p. 23
4	収益事業	p. 30
5	管理運営	p. 31

1 事業業績の概要

法人化後10年目を迎えた本法人は、2019年度から2021年度までの3か年間で「再構築による進化期」と位置付け、本法人の設立目的に立ち戻り、各事業の点検や見直しを行いながら、社会のニーズを先取りした事業が展開できるように、安定的な組織運営体制の整備に取り組んだ。その結果、3つの公益目的事業は概ね目標を達成できた。また、相模原市立市民・大学交流センター（以下センター）の指定管理業務についても、概ね目標を達成することができた。しかし、2020年2月以降は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、一部事業の中止又は延期を余儀なくされた。

教育学習事業では、「さがまちカレッジ」において、加盟機関の専門性を活かしながら、市民が快適で充実した生活を送るための講座を49講座開講した。1,623人が受講し、理解度は88%超であった。「相模原市・座間市 市民大学」では社会が抱える諸課題と市民の学習ニーズに基づく講座を26講座開講した。相模原市・座間市市民を中心に766人が受講し、理解度は83%に達した。センターで開催した「オーサーズカフェ」では平均37.2人、総数782人の市民がさまざまなジャンルのトピックを聴講した。総じて教育学習系の事業は高い理解度・満足度を収めている。

人材育成事業では、「キャリア支援4STEPプログラム」において、学生生活終盤に至り未だ就職が決まっていない大学生を対象に、キャリアセミナーを展開し、就活に必要な「自己分析」「企業研究」「面接対策」を集中的に学ぶ講座を実施し、さらに「しごと探求セミナー」では、加盟大学以外の学生を含む16人が参加した。また、近年力を入れている「さがまちインターシップ」では、11の受入れ先にて学生18人が参加し、通年を含む長期就業体験を行った。まちづくりの担い手の育成を目的とした「さがまち学生Club」では、36人の学生が様々な企画の実施や報告会に取り組んだ。

地域発展事業では、「学生映像制作」においては番組制作として、6大学、12チーム、CM・PR動画制作として、4大学から各1チームが参加し、映像制作の技術の向上とともに、地域に対する理解を深めることができた。いずれの作品も完成度が高いとの外部評価を受けている。「地域情報誌制作」では、学生の視点で企画から取材、執筆をする「情報誌さがまち」を制作し地域の魅力を発信した。

会員については、正会員は短期大学1校・企業1社が退会し31機関、賛助会員は新たに法人等2団体が入会、株式会社2社が退会し、計8機関、会員総数は39機関である。役員については、10月に理事 谷崎昭男が急逝したことにより、新たに佐々木勝洋が理事として選任され、代表理事に選定された。役員の現員は理事7人、監事2人である。今年度も引き続き事業担当理事がセンターに関わる業務担当理事を兼務した。

管理運営については、人事評価制度を導入するための基盤づくりとして、各職員が担当する業務を洗い出し、業務量や問題点の見える化を行った。

センターについては、第3期（平成31年度～令和3年度）指定管理者として、センターの目的である市民と大学の橋渡しや、研究機会の提供に従事した。また、新たな要員配置も含めた改善策に取り組んだ結果、いずれのプログラムも目標を達成することが出来た。さがみはら地域づくり大学の運営については、計画どおりに講座を開催し、地域づくりに取り組む人材を輩出することができた。職員については、センターの指定管理業務を行う要員を中心に、逐次補充、配置を行ってきた。

収支予算については、収入118,483千円（前年度比116.5%）、支出118,368千円（前年度比118.5%）を計上し、収支差額は114千円とした。

財政構造については、収入の23.2%を受託事業費が占めており、その割合は、昨年度に比べ6.8%増加した。昨年度までは地方公共団体補助金が占める割合は4.2%であったが、今年度は2.1%となった。また、収入の64.2%は指定管理料収入及び施設等利用料収入が占め、会費収入の割合4.7%であった。受託事業費が占める割合が増加したが単年度の事業が多いため、引き続き会費収入及び、受託事業費収入の拡大を図ることで安定的な財源を確保し、健全な財政基盤の確立に努めていく。

2 自己点検・評価結果

公益目的事業について、事業計画において設定した目標値に対する達成状況や取組実績に対して自己点検と評価を行った。収益事業については、実績とその評価を付記し、法人の管理運営については、実績を付記した。

今回の評価結果は、2019（平成31）年度事業計画における目標値に対する評価であり、評価の低い事業については、今後、取り組み内容を再検討する。

◇評価基準

- S：目標を超えて達成されている
- A：目標が達成されている
- B：目標がおおむね達成されている
- C：目標の達成が不十分である
- D：目標がほとんど達成されていない

(1) 公益目的事業の評価

ア 教育学習事業

プログラム名	事業計画における目標値	取組実績	評価
さがまちカレッジ	講座数：40 講座 受講者数：1,500 人 理解度・満足度：80%	講座数：49 講座 受講者数：1,623 人 理解度：88%、満足度：87%	S
相模原市・座間市 市民大学	講座数：27 講座 受講者数：1,200 人 理解度・満足度：80%	講座数：26 講座 受講者数：766 人 理解度：83%、満足度：82%	B
センター・オーサ ーズカフェ	講座数：24 講座 参加者数：960 人 満足度：80%	講座数：21 講座 荒天・臨時休館により 3 講座中止 参加者数：782 人 満足度：100%	A
センター・ユニコ ムセミナー	必要に応じて実施	実績なし	-

イ 人材育成事業

プログラム名	事業計画における目標値	取組実績	評価
キャリア支援 4 STEP PROGRAM	参加学生数：各プログラ ム定員の 80% 満足度：学生、企業 と もに 80% プログラム数：3	①キャリア支援「さがまち就活塾」 参加学生数：2 大学、2 人、定員の 20%（定員 10 人） 満足度：100% 理解度：100% ②「しごと探究セミナー2019」 参加学生数：11 大学、16 人、定員 の 32%（定員 50 名） 満足度：100% プログラム数：2	C
子ども社会体験推	子ども起業体験：1 回	子ども起業体験：1 回	A

進	参加児童数：30人 満足度：80%	参加児童数：58人 満足度：94% 「子ども起業体験（さがみはら子どもアントレ）」に実行委員会の一員として参画	
さがまちインターンシップ	受入先：12件 受入人数：各実習先受入定員の80% 満足度：80%	インターンシップ受入先：11件 受入人数：18人 参加率：定員の46% 理解度・満足度：100%	B
さがまち学生Club	参加学生数：30人 学生企画数：15件 満足度：80%	参加学生数：8大学、36人（企画参加学生数延べ147人） 企画数：16企画 満足度：100%	S
町田市まこちゃん教室	教室開催数：36回 課外授業数：4回	教室開催数：33回（3月は中止） 課外授業数：3回（3月は中止） 受講生徒数：52人 学習支援員：8大学、22人	A
センター・さがみはら地域づくり大学	講座数：15講座 申込者数：40人 理解度：80%	講座数：15講座 申込者数：コース申込者15人（他に、講座単位の申込者117人・延べ人数） 理解度：90%	B

ウ 地域発展事業

プログラム名	事業計画における目標値	取組実績	評価
学生映像制作	映像 参加チーム：16 作品数：16本 満足度：80% CM・PR 参加チーム：10 作品数：5本 クライアント：3件	① 番組制作 参加チーム数：6大学、12チーム 作品数：12作品 満足度：100% ② CM・PR動画制作 参加チーム：7チーム 作品数：4本 クライアント：1件	B
地域情報誌制作	参加学生数：30人 満足度：80% 年間発行回数：1回	参加学生数：8大学36人 満足度：100% 年間発行回数：1回 「さがまち25号」（3月）	A
地域情報発信	HPアクセス数：60,000件（対前年比20%増） 更新数：100件（対前年比20%増）	HPアクセス数：46,200件/年（対前年比2%減） 更新数：62件/年（対前年比24%減）	C
センター・市民・大学協働フェスタ	まちづくりフェスタ：1回 参加者数：2,000人 参加団体数：50団体 ユニコムサミット：1回	① まちづくりフェスタ：1回開催 参加者数：荒天により中止 参加団体数：56団体（予定） ② ユニコムサミット：1回開催 参加者数：臨時休館により中止 参加団体数：15団体（予定）	-
センター・市民・大学交流会	開催回数：6回 参加者数：120人	開催回数：6回 臨時休館により1講座中止 参加者数：86人	B

センター・市民と大学との橋渡し	利用者交流会：12回 相談件数：100件 連携実績件数：25件 満足度：80%	利用者交流会：10回開催 相談件数：151件 連携実績件数：26件 満足度：90%	S
センター・情報誌発行	月1回発行(3,000部) 理解度：80%	発行：12回/年間 発行部数：3,000部 相模原市内の217か所に配布 理解度80%	A
センター・団体登録	登録団体数：40団体(対前年比133%増)	登録団体数：37団体	A
センターホームページ運営(C)	HPアクセス数：300,000件(前年並)	アクセス数：302,331件	A

(2) 収益事業の評価

取組み	事業の主な内容	実績	評価
センターの施設等の管理運営事業(収益事業)	この事業は、一般市民などがセンターの施設等を利用するにあたり、相模原市条例に定める適正な料金のもとに次のサービスを提供し、利用者の便宜を図る。もって公益目的事業の推進への寄与を目指す。 ①シェアードオフィス運営支援(NPOや企業などが市民活動、地域貢献活動の拠点として利用するシェアードオフィス(共用貸事務所)の利用者有料支援) ②会議室等の貸し出し(セミナールーム、ミーティングルーム、AVスタジオ、実習室、情報コーナー、マルチスペースの有料貸し出し) ③備品等の貸し出し(機械、映像機材、各種ソフト、備品の有料貸し出し) ④利用者サービス(コピーサービス(有料)、無線LAN(Wifi-Spot)(無料))	①シェアードオフィス利用者運営支援 利用者数：16団体・個人(令和2年3月31日現在) ②会議室等の貸し出し 一般利用者数：176,240人 利用率：76.6% ③備品等の貸し出し ④利用者サービス コピー機：2台設置(有料) 無線LAN設置(無料)	B

(3) 法人の管理運営

内容	計画	実績
役員等の体制の整備	1. 役員体制の整備	1. 理事の死去に伴う補充の理事 1 人の選任と代表理事の選定(何れも 12 月)
指定管理施設運営体制の整備	1. 円滑な施設管理運営 2. 管理事務室職員の採用	1. 相模原市への定例報告(毎月 1 回) 2. 臨時職員 4 人を採用
事務局体制の整備	1. 教育・研修の実施	1. 全員に対する接遇研修及び防災訓練の実施(2 回)
情報公開の促進	1. 法令の遵守 2. 透明性の確保 3. 会員等の利便性の向上	1. 法定事項を公表 2. 議事抄録等を公開 3. 全規程を公開

1) 開催講座実績

	講座名	開催日	提供団体	受講者数
1	合唱を通してみなさまと元気！笑顔！健康の輪！※	5月12・18日・ 6月1・9日	玉川大学	121人
2	多色つかいのオリジナルテキスタイルをつくりましょう※	6月1日	女子美術大学	10人
3	電子書籍出版のススメ	6月8日	相模女子大学	31人
4	感じて描いてリラックス～クリニカルアート～※	6月23・30日・ 7月7日	町田市	17人
5	くすりの玉手箱～漢方薬のひみつ～（午前コース）	7月23日	北里大学	94人
6	くすりの玉手箱～漢方薬のひみつ～（午後コース）	7月23日	北里大学	64人
7	マール染めでうちわを作ろう※	7月26日	相模女子大学	36人
8	創作☆英語劇をつくろう！～英語のことわざをリズムにのって楽しく表現してみよう♪～	7月28日	相模女子大学	17人
9	夏のバッグを作ろうービニールシートで作るかんたんでおしゃれなバッグー※	7月29日	相模女子大学	36人
10	宇宙の広さを体感しよう	7月31日	玉川大学	34人
11	親子で楽しむ点字の基礎ー六つの点で何でも書ける！ー	8月2日	相模女子大学	50人
12	親子いっしょにプログラミング スクラッチコース	8月3日	青山学院大学	118人
13	親子いっしょにプログラミング ピクトグラミングコース	8月3日	青山学院大学	38人
14	Kids English in SALESIO	8月3・4・5・6日	サレジオ工業高等専門学校	24人
15	親子で作ろう！置くだけスマホスピーカー（午前コース）	8月4日	サレジオ工業高等専門学校	20人
16	親子で作ろう！置くだけスマホスピーカー（午後コース）	8月4日	サレジオ工業高等専門学校	20人
17	中学生のための初級薬学講座 ～薬の秘密を確かめよう～	8月4日	相模原市薬剤師会	18人
18	小学1年生から楽しむプログラミング（午前コース）	8月5日	青山学院大学	16人
19	小学1年生から楽しむプログラミング（午後コース）	8月5日	青山学院大学	16人
20	【学生講師プログラム】味覚サイエンス！本格出汁をつくって親子で健塩（すこしお）マイスター！	8月6日	麻布大学	38人

21	いきもの観察！たまごからいのちが生まれるまで	8月6・7・8日	麻布大学	40人
22	自分がデザインしたモデルで3Dプリンタを体験してみよう！（午前コース）	8月7日	女子美術大学	10人
23	自分がデザインしたモデルで3Dプリンタを体験してみよう！（午後コース）	8月7日	女子美術大学	12人
24	親・子・孫で楽しむ「スポーツスタッキング入門」～楽しく「体」「心」「頭」を鍛えよう～	8月8日	相模女子大学	40人
25	つくってあそぼう！パネルシアター	8月19日	和泉短期大学	36人
26	月探査機が撮影したデータを解析しよう	8月20・22日	相模女子大学	9人
27	型染でコットンバッグを染めよう	8月21日	東京家政学院大学	15人
28	絵のなかのどうぶつたちが教えてくれる絵心一色やかたちの自由さと“どうぶつらしさ”ー	8月23日	女子美術大学	38人
29	親子で作ろう！LEDで光るカラフルなミニチュアハウス	8月25日	女子美術大学	30人
30	水族館の仕事ー北里大学海洋生命科学部 夏の体験講座ー（午前コース）	8月26日	北里大学	28人
31	水族館の仕事ー北里大学海洋生命科学部 夏の体験講座ー（午後コース）	8月26日	北里大学	29人
32	【学生講師プログラム】 楽しく環境を学ぼう in 鶴見川ー川で学ぶ身近な自然ー	8月27日	和光大学	12人
33	親子で作ろう！ゆらゆら動くカラフル飛行機と雲のモビール※	8月30日	女子美術大学	24人
34	今より確実に元気になれる「半端ない健康講座」※	8月31日	東京家政学院大学	38人
35	永井荷風『日和下駄』（1915年）にみる景観ー江戸から東京へ	9月18日	相模女子大学	54人
36	公共交通整備は高齢者や外国人対策の切り札になるのか？～半世紀にわたるフランスのLRT（路面電車）整備の成果をもとに考える～	9月21・28日・ 10月5日	相模女子大学	13人
37	大人のための絵本講座ー表現に描かれる時代とテーマを読む	10月2・9・16・ 23日	相模女子大学	41人
38	骨粗鬆症予防のための運動と栄養について	10月22日	北里大学	40人
39	黄金比ってなあに？ーかたちの美しさと数の比のお話とレッスン	10月27日	女子美術大学	15人
40	楽しく歌って 笑顔！健康！元気！※	11月2・16日・ 12月8・15日	玉川大学	126人

41	レジンを使って自分だけのストラップやブローチを作ろう！※	11月9日	女子美術大学	15人
42	ハンドベルでクリスマスソングを奏でよう※	11月22・23日	玉川大学	16人
43	気を巡らせて“ぼかぼかな体”づくりを目指しましょう！2※	12月12日	相模女子大学	29人
44	クリスマス飾りを作ろう	12月8日	東京家政学院大学	17人
45	手作り絵本で英語を学ぼう！（10時コース）	12月21日	相模女子大学	16人
46	手作り絵本で英語を学ぼう！（11時30分コース）	12月21日	相模女子大学	10人
47	作品鑑賞を楽しみましょうー自分らしく絵の世界を味わうためにー※	2月15・22・29日	女子美術大学	19人
48	パーソナル・ミニドキュメンタリー映画をつくろう ～身近な“あの人”の声なき声に、カメラで耳を澄ます～※	2月16・24・29日	東京造形大学	8人
49	気を巡らせて“ぼかぼかな体”づくりを目指しましょう！2	2月20日	相模女子大学	25人
50	大人の食育Ⅲ～アンチエイジングのための料理教室～※	中止	相模女子大学	(24人)
51	美ってなんだろう？ー美学の世界へご招待ー※	中止	女子美術大学	(35人)
52	日本画の材料と文化に親しむー小作品を作ってみましょう※	中止	女子美術大学	(14人)
53	【特別講座】あなたの健康法、ホントに効くの？～現代の養生訓を考える～	中止	相模原市薬剤師会	(66人)
54	ミュージカルの心理劇Ⅳープッチーニ原作のミュージカルー	中止	相模女子大学	(52人)


・※町田市生涯学習センターとの連携講座

・（人）は受講決定者数

イ 市民大学（相模原市及び座間市教育委員会委託事業）

高等教育機関の機能を活用し、社会が抱える諸課題と市民の学習ニーズに基づく入門的・継続的な学習機会を提供した。

実 績	
期 間	通年（前期、後期）
講 座 数	13コース、26講座
定 員 数 等	定員数：1,205人 申込者数：849人 受講者数：766人
内 容	地域市民の多様な学習意欲に応えるため、近隣の高等教育機関の協力により、それぞれの教育機関の特色を生かした幅広い内容の講座を開講した。
自 己 評 価	講座数はほぼ計画通りに開講できた。広報活動の主体である行政広報での周知が縮小し、またその不足を補う宣伝が十分に行えなかったため、昨年度の

	応募倍率を下回る結果となった。受講者アンケートから受講者のアウトカム評価や関心を的確にとらえ、主催者に提供することができた。受講者の本市民大学に寄せる期待は大きく、また受講者ならびに主催者の満足度も良好だったが、受講者数が目標値に達しなかったので「B」と評価する。
課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者ならびに主催者の満足度を維持するため、主催者、受講者双方の意見を参考にして、より円滑な運営を行う。 ・各校の特色を生かした良質の講座をより多くの地域市民に知らしめるために、本会 HP や広報物を活用し、引き続き受講者の拡大に努める。
会 議 等	市民大学連絡会議 開催日：2019年5月20日 2020年1月29日
収 支	市民大学委託事業費の全額を充当
実施の様子	

	講座名	開催日	開催校	受講者数
1	「もったいない」の話をしようーモノ、コト、そしていのちの消費ー	7月	相模女子大学・相模女子大学短期大学部	28人
2	松下幸之助の経営哲学からみるAI	7月	相模女子大学・相模女子大学短期大学部	20人
3	英語講座 英語ニュースを聞きとろう!6	9~11月	相模女子大学・相模女子大学短期大学部	61人
4	ペットと豊かに暮らそう!	7・8月	麻布大学	14人
5	身近にいる危険な生物を知ろう!	7・8月	麻布大学	15人
6	生き甲斐と死に甲斐のある生き方ー人生100年時代におけるひとつの死生観ー	9月	和泉短期大学	38人
7	名作椅子の模型をつくろうー歴史を学び、プロのプロセスを体験するー	9月	女子美術大学	8人
8	女子美術大学美術館コレクションを知る	9~12月	女子美術大学	35人
9	刺繍をまなぶー日本刺繍の歴史と技術を楽しく学びましょう	9・10月	女子美術大学	21人
10	健康で豊かな人生のための基礎知識	9~11月	北里大学	65人
11	暮らしに役立つ医療の知識	9~11月	北里大学	101人
12	楽しく元気に!介護予防の基礎知識	7・8月	医療ビジネス観光福祉専門学校	14人
13	サイエンス&テクノロジーが切り開く新たな世界	6・7月	青山学院大学	78人
14	これからの国際貢献のかたち	6・7月	青山学院大学	59人

15	みんなが暮らしよい社会を創造しよう：障がい学への招待	8月	東京家政学院大学	5人
16	公文書問題を考える	8・9月	法政大学	18人
17	Active English in the News (中級)	7～9月	サレジオ工業高等専門学校	20人
18	ことばのたたずまいー「モノ」としてのことば	8月	和光大学	19人
19	近代日本のはやり歌を知る・歌うⅡー新民謡の成り立ちと発展	10・11月	相模女子大学・相模女子大学短期大学部	18人
20	初めての朗読 (初心者コース)	11・12月	相模女子大学・相模女子大学短期大学部	18人
21	楽しく元気に！介護予防の基礎知識	11月	医療ビジネス観光福祉専門学校	4人
22	社会情報学の視点でみる 2020 東京オリンピック・パラリンピック	10・11月	青山学院大学	40人
23	干物の魚を彫刻するー寄せ木で見えてくるかたち	10～12月	多摩美術大学	9人
24	Active English in the News (中級)	10・11月	サレジオ工業高等専門学校	20人
25	SDGs に沿った行動をする生活者・消費者を目指して	10～12月	行政 (相模原市・座間市)	16人
26	シニアライフをいきいき楽しく過ごすためにー自分のため、家族のため…生きがい・健康・住まいについて考えるー	11・12月	行政 (相模原市・座間市)	22人

ウ オーサーズカフェ (指定管理事業)

さまざまなジャンルから話題性の高いトピックを取り上げてトーク形式で解説する参加自由なカフェ形式のセミナーを提供した。

実 績	
期 間	通年 (隔週土曜日 14:00～15:00)
講 座 数	21 講座 (3 講座は荒天・臨時休館により中止)
定 員 数 等	定員数：定員数は特に設けていない 参加者数：782 人、平均参加者数：37.2 人
内 容	健康、歴史、文学、芸術、自然科学、環境など、多彩なテーマについて第一線で活躍している大学教授や各界の専門家による講座を開講した。
自 己 評 価	毎月 2 回のペースで開催、ユニコムプラザさがみはらの特徴的なにぎわいの空間として市民に認知されてきており、学びのきっかけづくり、市民と大学との接点の場となっている。受講者数も安定しており、常に 20 人を超えている。アンケート結果では、受講者の満足度が大変良好だったので「A」と評価する。
課題と改善策	ロビーで人が密集するため、再開時は感染防止対策が必要となる。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当



	講座名	開催日	参加者数
1	アニマルウェルフェアに配慮した畜産食品	4月13日	24人
2	麻布大学いのちの博物館の楽しみ方	4月27日	21人
3	こどもに優しい医療とは	5月11日	35人
4	障がいのあるユーザー中心視点のシステムデザイン	5月25日	27人
5	目指せ！グローバル産品開発	6月8日	25人
6	地域でイキイキと過ごすために！フレイルを予防しよう！	6月22日	50人
7	作品鑑賞の魅力～女子美術大学美術館コレクション展～	7月13日	44人
8	いらなくなった家電品の不法投棄 なぜダメなの？	7月27日	29人
9	「一歩踏み出すこと」で出会えたこと	8月10日	39人
10	地方自治体の情報発信～ソーシャルメディア時代～	8月24日	25人
11	「死」を通して考える「生」～お坊さんのホンネ～	9月14日	94人
12	海の魚介類の寄生虫「アニサキス」のはなし	9月28日	29人
13	パラスポーツとパラリンピック（荒天により中止）	10月12日	-
14	女子大生と街の番組作りませんか？	10月26日	21人
15	青山学院大学コミュニティ人間科学部は何をめざすか	11月9日	26人
16	女子美染織コレクション 女子美に眠るコプト織物の魅力	11月23日	25人
17	名曲探偵が明かすベートーヴェン第九のヒミツ Season 5	12月14日	57人
18	フランスの中世ロマネスク聖堂	12月28日	55人
19	子ども・若者ケアラーを知っていますか	1月11日	33人
20	現代の食生活から考える日本の伝統食「和食」の未来	1月25日	38人
21	ヴァーチャルで巡るローマ巡礼の旅	2月8日	45人
22	原子から見た宇宙 ～我々はどこで生まれたのか～	2月22日	40人
23	桜のはなし（臨時休館により中止）	3月14日	-
24	アートが地域を変える！（臨時休館により中止）	3月28日	-


エ ユニコムセミナー（指定管理事業）

実績なし。

(2) 人材育成事業

ア キャリア支援 4 STEP PROGRAM

就職活動を迎える学生を対象に、相模原市・町田市の魅力あるさまざまな企業と連携し、キャリア支援を目的とした体験型プログラム及びセミナーを実施した。

実 績	
期 間	2019年9月～12月
開 催 場 所	相模女子大学、bono 相模大野イベントスペースなど
参 加 者 数	(キャリア支援 さがまち就活塾 2019) 学生2人 (キャリア支援 しごと探求セミナー2019) 学生16人
内 容	2019年度は、学生生活終盤に差し掛かる時期に未だ就職が決まっていない大学生を対象としたキャリアセミナー「さがまち就活塾 2019」及びこれから就職活動を迎える学生を対象としたパネルディスカッションセミナー「しごと探求セミナー2019」を開催。地域の特色を活かした各キャリア支援プログラムを提供した。
自 己 評 価	さがまち就活塾及びしごと探求セミナーともに参加者満足度が高く、協力企業からの評価も高い結果が得られたが、参加者数が目標値に達しなかったので「C」と評価する。
課題と改善策	次年度も学生・大学・地域企業のニーズ検討を行い、より時代のニーズに合ったプログラムへ企画内容を再構築する。
会 議 等	4 STEP PROGRAM プロジェクト会議 開催日：2019年9月13日
収 支	会費収入の一部を充当
実施の様子	

1) キャリア支援 さがまち就活塾 2019

実施日	10月19日 13:00～16:00
実施場所	ユニコムプラザさがみはらマルチスペース
参加学生数	2人
参加大学	玉川大学、拓殖大学
実施内容	自己分析ワーク、地元企業研究ワーク、模擬面接ワークなど

2) キャリア支援 しごと探求セミナー2019

実施日	12月12日 17:00～19:30
実施場所	Bono 相模大野イベントスペース
参加学生数	16人
参加大学	桜美林大学、相模女子大学、女子美術大学、女子美術大学大学院、法政大学、日本大学、日本女子大学、専修大学、中央大学、東洋大学、早稲田大学

協力企業数	パネリスト5団体
協力企業	株式会社 JTB、NPO 法人アスリード、株式会社クロスメディア、ネットワーク きいち、玉川大学

イ 子ども社会体験推進

地域の小学生が「会社設立、事業計画書の作成、資金調達、仕入、製造、販売、決算」という起業プロセスを疑似体験するプログラムに実行委員会の一員として参画した。

実績	
期間	通年
内容	相模原地域の小学生が「会社設立、事業計画書の作成、資金調達、仕入、製造、販売、決算」という起業プロセスを疑似体験するプログラム「さがみはら子どもアントレ」に実行委員会の一員として昨年度に引き続き参画。2019年度の事業内容や広報手段等の提言を行った。
自己評価	実行委員として年間を通じて参画し、50人超の子どもの社会体験推進に寄与したので「A」と評価する。
課題と改善策	次年度も実行委員として参画し、子供の社会体験に寄与していく。
会議等	さがみはら子どもアントレ実行委員会 開催日：2019年6月10日 2019年8月2日 2019年10月25日
収支	会費収入の一部を充当

ウ さがまちインターンシップ

学生のキャリア形成の支援として、地域産業への理解を深める、地域の特色ある企業や公共活動に取り組むNPO等の活動を知る事などを目的としてインターンシップに取り組んだ。

実績	
期間	2019年6月～2020年3月
受入先数	11件
参加者数	加盟大学の学生18人
参加大学	青山学院大学、麻布大学、桜美林大学、相模女子大学、玉川大学、多摩美術大学、法政大学、和光大学
内容	地域の特色ある企業や公共活動に取り組むNPO等と大学を結ぶ「マッチングステージ」として各インターンシッププログラムを展開。プログラムの特徴は最短でも1か月、長期では9か月に及ぶ長期就業体験。
自己評価	実習受入れ数は11件となり、地域に根差した魅力的な実習先と学生との出会いの場を多く創出した。参加した学生及び受入先からの満足度はいずれも高かったが、参加学生数は目標には届かなかったため「B」と評価する。
課題と改善策	・実習先・参加学生との連絡・調整、関連する事務作業等の効率化を図る。 ・一部のインターンシップでは定員に満たない実習先があったため、本会HPや広報物を活用し、また加盟大学との連携を強化し、参加者の拡大に努める。
収支	会費収入の一部を充当




受入先別実施状況

	受入先	期間	参加者	内容
1	FMさがみ	2019年6月～ 2020年2月	2人	コミュニティーFM局「エフエムさがみ」の協力の下、学生独自のラジオ番組制作やアナウンス業務等を体験
2	さがみはら市民活動サポートセンター	2019年6月～ 10月	1人	センター主催イベントの企画・運営業務やセンターの広報、交流ワークショップの運営業務等を体験
3	SC相模原	2019年6月～ 12月	0人	チラシ作りやホームゲーム当日の試合運営補助など、プロサッカーチームにおけるスポーツマネジメント業務を体験
4	ユニコムプラザさがみはら	2019年7月～ 10月	4人	主催イベント「まちづくりフェスタ」の企画・運営サポートや、施設管理サポート等
5	町田新産業創造センター	2019年7月～ 12月	2人	センター主催のビジネスイベントの企画・運営補助や、その他広報業務などを体験
6	J:COM	2019年8月～ 9月	1人	テレビ収録のアシスタントディレクターとして、実際の収録現場を体験
7	相模大野図書館	2019年8月	1人	貸出・レファレンス等の図書館司書業務の体験、及び図書館に対する企画のプレゼンテーションを実施
8	町田市生涯学習センター	2019年8月	1人	センター主催の生涯学習系イベントの運営補助やその他広報業務の体験、及びセンターに対する企画プレゼンテーションを実施
9	町田市ひなた村	2019年8月	0人	子どもを対象としたキャンプイベントや学習イベントの企画運営補助業務を体験
10	町田国際交流センター	2019年9月～ 2020年2月	3人	日本語教室やスポーツ大会等の異文化交流事業の運営補助業務を体験
11	町田市民ホール	2019年9月～ 2020年2月	3人	市民ホールで開催されるコンサートや落語、TV番組収録イベント等の運営補助業務を体験

エ さがまち学生Club

相模原・町田地域の活性化を目的とした学生によるまちづくりの取組み。主な内容は、地域活性化をテーマとした学生企画の実施、まちおこしイベントへの参画、ボランティア活動、情報取材活動・情報発信活動など多岐にわたる。

実績	
期間	2019年6月～2020年3月
取組企画数	16件
参加者数	加盟大学の学生36人（企画参加学生数延べ147人）
参加大学	青山学院大学、相模女子大学、女子美術大学、女子美術大学大学院、玉川大学、法政大学

内 容	まちづくりへの関わりを通じて青年の社会適応力の育成を目的とする。クラブに所属する学生の自主性のもと、年間を通して、様々な相模原市、町田市の地域団体と連携し、16件のまちづくり企画を実施。ただし3月は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、外出を伴う活動は中止した。
自 己 評 価	今年度も多種多様な幅広い分野で学生まちづくり活動を推進することができた。また今年度も独自の取組みにより、各種メディアにも取り上げられるなど、地域からの注目度は年々高まってきている。参加学生及び協働団体からの評価も高かったので「S」と評価する。
課題と改善策	活動領域の拡大に伴い、学生組織体制及び付随するディレクション業務の効率化を図る。
収 支	会費収入の一部を充当
実施の様子	  

活動の実績

	内容	実施月	参加者	依頼元
1	「橋本七夕まつり」ブース出店 (8/3, 4, 5)	7月 ～8月	(学生) 29人 (参加者) 約900人	相模原市緑区
2	町田市長との懇談会	8月	(学生) 7人	町田市 市民協働推進課
3	町田エイサー祭り 学生MCとして参画	9月	(学生) 2人	町田エイサー祭り 実行委員会
4	町田福祉園みのり祭への参加 (10/21)	8月 ～10月	(学生) 10人 (参加者) 約200人	町田福祉園
5	SC相模原ホームゲーム への参画	7月 ～10月	(学生) 8人 (参加者) 約200人	SC相模原・相模原 市障害政策課
6	学生アイデアプレゼン大会 In AGORA	7月 ～10月	(学生) 15人 (参加者) 50人	町田マルイ・(株)コ プラス・相模原市 経営監理課
7	相模原市内企業のPR記事制作	7月 ～11月	(学生) 3人	さがみはら産業創 造センター
8	相模原市「シビックプライド検 討委員会」への参画	11月	(学生) 1人	相模原市シティセ ールズ親善・交流 課
9	パラスポーツ普及啓発キャラバ ンへの参画	9月 ～12月	(学生) 6人 (参加者) 約300人	相模原市障害政策 課
10	FMさがみ特別出演	12月	(学生) 6人	相模原商工会議所
11	相模原市内の子ども食堂とのコ ラボレーション企画	11月 ～2月	(学生) 10人 (参加者) 20人	あいおいみんなの 食堂

12	町田市「ガクマチ EXPO」への 参画※延期	10月 ～3月	(学生) 4人	町田市生涯学習センター
13	「まこちゃん教室」でのワーク ショップ※中止	11月 ～3月	(学生) 6人	町田子ども家庭支援センター
14	ClubによるSDGs普及啓発企画 の実施	2月	(学生) 30人	相模原市企画政策課
15	ボランティアPRリーフレットの 制作	通年	(学生) 6人	町田市社会福祉協議会
16	町田マルイ・モディ店PR動画 制作	通年	(学生) 6人	町田マルイ店

オ 町田市まこちゃん教室 (町田市委託事業)

町田市内のひとり親家庭等の子どもとその保護者を対象とし、日々の学習支援や課外活動・ワークショップを通し、子どもの基礎学力の定着や社会性を伸ばす無料学習塾を運営した。

実績	
期 間	2019年7月～2020年3月
教室回数	(集合型) 2019年7月～翌3月24日まで毎週火曜日実施 計36回 (派遣型) 生徒・学習支援員の都合により毎週実施 計36回 ※ただし3月については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、全ての教室を中止
開催場所	町田市生涯学習センター、町田市民文学館ことばらんど、生徒自宅など
参加者数	受講生徒：小学4年生～中学2年生 52人(集合型：40人 派遣型：12人) 学習支援員：22人(桜美林大学、相模女子大学、玉川大学、法政大学、和光大学、國學院大學、首都大学東京、東海大学)
内 容	町田市内のひとり親家庭の子どもを対象とした無料学習塾で、学習習慣の定着支援と自尊心及び社会性の向上、環境に左右されずに将来をポジティブに捉える力を醸成することを目的として実施。講師は地域の大学生が担当し、教室の運営を通して「まちの子どもたちを、まちの大学生が共育する」ことに取り組んだ。
自己評価	当法人として初の無料塾運営業務であったが、年間を通して大きなトラブルもなく、生徒・保護者・学習支援員から高い運営評価を得ることが出来た。3月の中止は残念であったが、最終アンケート結果項目の満足度が高かったため、「A」と評価する。
課題と改善策	2019年度に蓄積した教室運営ノウハウやアンケート結果等をまとめ、考察し、次年度の運営計画に活かす。
課外プログラム	年に4回の課外プログラムを企画・実施 8月3日 玉川大学体験ツアー(協力：玉川学園) 9月29日 境川清掃ボランティア(協力：㈱アイワ広告) 12月15日 ものづくりワークショップ(協力：鳥取大学土井名誉教授) 3月10日 夢ワークショップ(協力：さがまち学生Club) ※中止
収 支	まこちゃん教室委託事業費の全額を充当
実施の様子	



カ さがみはら地域づくり大学（指定管理事業）

協働の観点での地域活動及び市民活動を促進するために必要な知識や技術を体系的に学習する講座を開講した。

実 績	
期 間	通年
講 座 数	基礎コース 5 講座（必修 3、選択 2）、応用コース 5 講座（必修 3、選択 2）、 専門講座 5 講座、計 15 講座 ※上記の他に、開講記念学長講演 1 講座、公開プレ講座 2 講座、（特別公開講座は臨時休館により中止）
定 員 数 等	定員数：各コース・専門講座 20 人、学長講演・公開プレ講座・特別公開講座 各 100 人 参加者数：192 人（延べ人数）
内 容	4 月に開講記念学長講演・受講者証交付式、5 月に公開プレ講座、6～1 月（8～9 月は除く）に各コース、8～9 月に専門講座、2 月に修了式・受講者交流会、3 月に特別公開講座（臨時休館により中止）。その他に、年 4 回コーディネーターズサークル交流会（うち 1 回は臨時休館により中止）。
自 己 評 価	講座開始までに申込者数がコース定員に達しなかったことから、講座単位での参加者の増員を図るために講座ごとの募集チラシを作成配布し、また、開催済みの講座の様子をセンター内でビデオ放映するなどして、参加者の獲得に努めた。予定の講座はすべて開講することができたが、各コースの申込者数が目標値の定員に達しなかったので「B」と評価する。
課題と改善策	より魅力ある講座内容にすべく、担当者を変更してニーズ調査と講座内容の変更を検討する。また、効果的な広報にも取り組む。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当
実施の様子	

1) 内容及び受講者数

コース		講座名	開催月	受講者数
基礎 コース	必修	協働とは何か～地方分権と協働～	6 月	10 人
	必修	相模原を知ろう、学ぼう	7 月	12 人
	必修	協働の考え方と様々な協働のかたち	10 月	10 人
	選択	今さら聞けない「市民活動のための知っておくべき法律入門」	11 月	13 人

	選択	さがみはらの未来～住む街をアピールする～	12月	12人
応用 コース	必修	地域づくりのためのファシリテーション	6月	8人
	必修	団体運営のコツと資金を調達するために	7月	8人
	必修	情報の扱い方とプレゼン力を磨く	10月	7人
	選択	地域で子どもを育む～出来ることから始める～	11月	8人
	選択	地域への愛着が生まれる！まちの歴史や文化	12月	13人
専門講座		「子育て」で地域とつながる！さがみはらの教育福祉	8月	3人
		地域が元気になる！健康づくり講座	8月	3人
		身近な環境を守る～次の世代へつなげる～	9月	3人
		地域を掘り起こす！さがみはらの地域資源	9月	4人
		さがみはらを歩く～中央区編～	9月	3人
合 計				117人

2) コーディネーターズサークル交流会

	開催日	講座名	参加者数
第1回	2019年 5月29日(日)	今年度の交流会の実施内容の説明や活動の場の提供の準備としての活動登録票の提出	8人
第2回	2019年 9月4日(水)	サークルメンバーのスキルアップ研修として、「アサーティブなコミュニケーションとは」を実施	6人
第3回	2019年 11月30日(土)	メンバーが進行・講師役となり「紙芝居の魅力について」実際に参加者が紙芝居を演じた	5人
第4回	2020年 2月26日(水)	臨時休館により中止	-

3) コーディネーターズサークル交流会運営委員会

第3回交流会を実施するにあたって、修了者のニーズを反映できるように、メンバーから希望者を募り、事務局と合同で運営するために運営委員会を開催した。

4) 開講記念学長講演および受講者証交付式の開催

【開講記念学長講演】

日 時：2019年4月21日(日) 午後2時から3時15分

場 所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2

講 師：さがみはら地域づくり大学学長 中邨 章氏(日本協働政策学会理事長、明治大学 名誉教授)

テ ー マ：地域づくりの技法－自治体戦略2040 とさがみはら

参加者数：47人

【受講者証交付式】

日 時：2019年4月21日(日) 午後3時30分から3時50分

場 所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2

参加者数：10人

5) 公開プレ講座の開催

【協働のまちづくり-ガバナンスの担い手とは】

日 時：2019年5月19日（日）午後4時から3時30分

場 所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2

講 師：坂野 喜隆氏（流通経済大学 准教授）

参加者数：15人

【小さなことからコツコツと！！～NPO活動の実際とその可能性～】

日 時：2019年5月19日（日）午後3時40分から5時10分

場 所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2

講 師：桑原 和也氏（NPO法人フリースクール鈴蘭学園 副理事長）

参加者数：13人

6) 修了式・受講者交流会の開催

【修了式】

日 時：2019年2月2日（土）午後2時から2時30分

場 所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2

参加者数：6人

【受講者交流会】

日 時：2019年2月2日（土）午後2時40分から3時50分

場 所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2

参加者数：8人

7) 特別公開講座の開催

日 時：2019年3月10日（日）午後2時から4時10分

場 所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2

講 師：古橋 裕一氏（相陽建設株式会社 代表取締役、橋本商店街協同組合 理事長）
牧瀬 稔氏（関東学院大学法学部地域創生学科 准教授）

6) 修了式・受講者交流会の開催

【修了式】

日 時：2020年2月16日（日）午後4時から4時30分

場 所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2

参加者数：4人

【受講者交流会】

日 時：2020年2月16日（日）午後4時40分から5時40分

場 所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2

参加者数：8人

7) 特別公開講座の開催（臨時休館により中止）

日 時：2020年3月29日（日）午後2時から3時30分


場 所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2

講 師：秋山 友志氏（横浜商科大学 特任講師／地域連携コーディネーター）
 テ ー マ：地域資源を「ひと・もの・こと・とき」の視点で見出すポイント

(3) 地域発展事業

ア 学生映像制作

映像制作を通して地域への理解を深め、また、取材、企画提案、番組構成案作成、撮影等の一連の作業を通じて、協調性や他者との関係作りに必要な能力と態度を育成する。

実 績	1) 学生情報局「さがまちバンバン」	2) CM・PR 動画制作
期間/開催日	2019年8月～2020年3月	
作 品 数	1) 12作品 2) 4作品	
参 加 団 体	1) 加盟大学の12学生団体 2) 加盟大学の7学生団体	
内 容	1) 地域の学生がTV番組制作を通して地域への理解を深めること、そして学生目線の地域映像情報に接した市民が地域の再認識することを目的とするプログラム。6大学12チームがエントリーし12作品を制作。制作された作品はさがまちHP及びYouTube等で配信した。3月に予定されていた優秀作品の選考、表彰を行う「さがまちバンバンアワード2019」は新型コロナウイルス観戦拡大の影響を受け中止し、HP上での審査結果発表を行った。 2) 地域団体からのオファーを受け、地域の学生がCM・PR動画を制作。1団体（全国国民年金基金）からのオファーがあり、計4本の動画作品を制作。制作された作品は地域コミュニティチャンネルや電車内広告、公共バスのデジタルサイネージ、地域映画館での上映、各種インターネット等で放送されている。	
自 己 評 価	TV番組やCM・PR動画制作を通して学生が地域への関心を深める一方、協調性や他者との関係作りに必要な能力を育成した。参加した学生、関係した教員、地元地域ともに好評であったが、参加学生団体数は目標に届かなかったため「B」と評価する。	
課題と改善策	幅広い学生参画を目指すため、広報・プロモーション方法などを再検討し、参加者の拡大に努める。	
収 支	会費収入の一部を充当	
実施の様子		

1) ① 学生情報局「さがまちバンバン」作品一覧

	作品タイトル	放送月	制作団体
1	アオガクセイノセイタイ	9月前半	青山学院大学
2	さがまち あそび隊	10月前半	女子美術大学
3	女子たび	10月後半	女子美術大学

4	私の友達	11 月前半	相模女子大学
5	絶対に許さない	1 月前半	青山学院大学
6	GIFT	2 月前半	玉川大学
7	ビストロバナナ	2 月後半	玉川大学
8	この町の忘れ物	3 月前半	東京造形大学
9	ニヒル	3 月後半	和光大学
10	新入生物語	4 月前半	相模女子大学
11	さがキャン	4 月後半	東京造形大学
12	時をかけたたりしあり賀どん	5 月前半	東京造形大学

1) ー② さがまちバンバンアワード 2019 受賞作品

	賞タイトル	作品タイトル	制作団体
1	最優秀作品グランプリ	この町の忘れ物	東京造形大学
2	さがまち賞	GIFT	玉川大学
3	J:COM 賞	女子たび	女子美術大学
4	MOVIX 橋本賞	私の友達	相模女子大学

2) CM・PR動画制作作品一覧

	クライアント名	作品タイトル	制作団体
1	全国国民年金基金	将来の私へ篇	青山学院大学
2	全国国民年金基金	鏡篇	桜美林大学
3	全国国民年金基金	花屋篇	相模女子大学
4	全国国民年金基金	3 匹の子豚篇	東京造形大学

イ 地域情報誌制作

学生による地域情報誌制作を通して地域への理解を深め、また情報誌を手にした市民が地域のイベントや活動を知り、地域の魅力を再認識することを目的して実施した。

実績	
期 間	2019 年 6 月～2020 年 3 月
参 加 者 数	加盟大学の学生 36 人
参 加 大 学	青山学院大学、相模女子大学、女子美術大学、女子美術大学大学院、玉川大学、法政大学
内 容	地域の学生が地域情報誌「さがまち」25 号を約半年をかけて制作。発行した情報誌は、相模原・町田市内の公共施設、銀行、病院、大型商業施設など約 500 箇所配布・配架した。
自 己 評 価	情報誌制作を通して学生社会適応能力の向上と情報発信による地域活性に寄与した。掲載内容も内外から好評であったので「A」と評価する。
課題と改善策	より市民に身近な地域情報誌を目指すため、新たな配架場所や地域の協力


	者を獲得し、更なる地域活性を目指す。
収 支	会費収入の一部を充当
実施の様子	

1) 地域情報誌「さがまち」25号の概要

発行数	1万2千部
配架場所	相模原市・町田市内のまちづくりセンターや図書館などの公共施設、銀行、総合病院、高校、大規模商業施設など約500箇所
概要	B5版サイズ・24ページ・両面カラー
記事タイトル	統一テーマ～心弾む瞬間～ ・文化人の軌跡 2020 その先へ ・走りたい相模原 ・グルメ世界一周旅 ・PHOTO PROTOCOL ・団地の魅力再発見 ・みんキチレポート ・さがまちSDGs




ウ 地域情報発信

ポータルサイト「さがまち」による情報発信事業。

実 績	
期 間	通年
HPアクセス数	46,200件
更 新 数	62件
内 容	ポータルサイト「さがまち」の運営を通して地域情報の発信をした。
自 己 評 価	公益目的事業に関わる情報発信に注力し、市民の生活に密着した情報を発信した。しかし、アクセス数及びサイト内更新数が目標を下回ったので「C」と評価する。
課題と改善策	SNSの連動など時代のニーズ、シーズに沿った情報発信を心掛ける。
収 支	会費収入の一部を充当
	


エ センター市民・大学協働フェスタ

地域・市民団体と大学が協働したまちづくりイベントを開催。

実績	
開 催 日	1) 2019年10月13日 2) 2020年3月20日～5月24日（メインは4月26日）
参 加 者 数	1) 参加団体数：56団体、荒天により中止 2) 参加団体数：15団体、臨時休館により中止
内 容	1) 自治会・商店街・公民館の地域活動、市民団体・NPOの市民活動、大学の生涯学習講座や研究成果、学生の地域連携活動、企業の地域貢献活動の取組を展示する。 2) 地域・市民活動を実践する団体・個人を対象に、成功事例や課題、経験者にしかわからない隠れた問題などを紹介し、その解決方法を参加者が共有する。
自 己 評 価	1) 今回の特徴は、「作る、体験する、学ぶ、そしてステージ発表」を意識して、それぞれのカテゴリで大学と市民団体が交流できるよう工夫した。また、ポーノ相模大野のポーノ広場をサテライトステージとして、センター内では制限されてきた楽器の演奏やパフォーマンスを取入れ、交流のネットワークを広げるとともに来場者のセンターへの誘導を図った。さらに、まちづくりモデル事業報告会や橋渡し事例、地域づくり大学の紹介など、この事業本来の目的である市民と大学の協働事業の成果発表に重点を置いた。準備は完了していたが、台風による荒天の影響で中止となった。 2) テーマをアートに設定し、相模大野アートクラフト市実行委員会と共同でプロジェクトを立ち上げた。2020年4月26日に開催される「相模大野アートクラフト市」に合わせてユニコムサミットを開催することとし、地域課題の解決に繋がるように、大学・高校・行政・市民団体などに参加を呼びかけた。また、ユニコムサミットに前後して、3月20日から5月24日までをアート月間とする「アートフェス in ユニコム 2020～種まきの春～」をセンターが独自に企画した。準備は完了していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休所のため中止となった。 以上を踏まえて評価はなし「-」とする。
課題と改善策	1)、2) 共に来年度の開催に向けて日頃の活動を活発に行う。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当
実施の様子	昨年度の様子  フェスタ  サミット 

オ センター・市民・大学交流会



実績	
開 催 期 間	2019年5月～2020年3月
開 催 数	6回（臨時休館により1講座中止）
参 加 者 数	86人

内 容	個人・団体が大学と交流する場の提供。「地域連携の考え方」、「大学の得意分野」「協力を要請したい分野」などの具体的なテーマを設定し、市民と大学との連携のきっかけを創出する。
自 己 評 価	具体的テーマに基づく6回の市民・大学交流会を開催し、活発な意見交換を行ったが、参加者数が目標値を下回ったので「B」と評価する。
課題と改善策	・交流会終了後、連携の有無と内容について追跡調査を行っており、連携に繋がる案件が出てきた。引き続きフォローしていく。 ・より幅広い世代に参加していただけるよう、テーマを工夫している。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当
実施の様子	

	開催日	テーマ	参加者数
1	5月30日(木)	現代の子育ての基本を学ぼう	10人
2	7月24日(水)	考えよう人の暮らしとエコ・未来	5人
3	8月10日(土)	ドクターアキヤマと一緒に楽しくて面白い科学実験で暑い夏を吹き飛ばそう	35人
4	9月25日(水)	クラゲを通してみた海の世界!	10人
5	11月27日(水)	大学との連携を考える団体担当者向け実践講座	17人
6	1月23日(木)	「働きながら学ぶ場」としての大学の取組みについて	9人
7	3月25日(木)	作品鑑賞の魅力を探る(臨時休館により中止)	-

カ センター・市民と大学との橋渡し

実 績	
期 間	通年
内 容	① シェアードオフィス利用者への支援 利用者交流会：10回開催 ②センター利用者への支援 相談件数：151件 ③市民と大学との連携実績26件
自 己 評 価	①利用者交流会を通じて活動状況の把握とアドバイスができた。 ②受身型の相談から提案型の相談が増え、かつ、件数が増加している。 ③年間を通して多種多様な橋渡しを実現し、その後もフォローしている。 以上を踏まえて「S」と評価する。
課題と改善策	テーマを決め、より実践的な自主事業を行うことでアドバイス、提案、橋渡しを継続的に実現する。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当

実施の様子	大学との連携		
	多世代交流の場		

キ センター・情報誌発行

センター事業やセンターに係わる様々な団体の取り組みや連携に関する情報を紹介する情報誌を定期的に発行。

実績	
期間	通年
発行回数	12回/年間
発行部数	3,000部
内容	A4版2ページ、カラー、相模原市内の217か所に配布 センター事業の紹介、大学の活動紹介、シェアードオフィス利用者の活動紹介など、様々な取り組みや市民と大学との連携に関する有効な情報を紹介した。
自己評価	施設の設置主旨に鑑み、「市民と大学との連携」「施設でのイベント」について、タイムリーに情報発信できたので「A」と評価する。
課題と改善策	企業の地域連携活動としてのイベントにも注目していく。
収支	指定管理者事業収益の一部を充当

ク センター・団体登録

実績	
期間	通年
登録団体数	37団体
内容	定期的にセンターを利用する団体・フェスタへの出展者に対し登録を促す。 橋渡し案件として関わった団体に登録を促す。
自己評価	登録数は、昨年度30団体から37団体に増加したので「A」と評価する。
課題と改善策	次年度もフェスタへの出展者に対して登録を促すなど、増加に努める。
収支	指定管理者事業収益の一部を充当

ケ センター・ホームページ運営

市民や大学、企業・団体が行う多彩な活動を紹介する。センター事業をはじめ、センターと団体との共同事業、利用団体（利用者）が行う事業、その他の地域情報を幅広く紹介する。

実績	
期間	通年
HPアクセス数	302,331件
更新	毎日
内容	センターで開催される多彩な活動について、予告を中心に紹介。また、施設案内、利用案内、施設予約状況は毎日最新情報を発信。 「市民と大学との連携」は特設ページを開設し、PRと事例を紹介。 そのほか、「最新ニュース」、「おすすめイベント情報」を掲載し、発信。

	センターでの活動状況や各大学の連携状況をリアルに紹介するためのフェイスブックの運営と、学生に向けた情報発信のツールとしてツイッターを運営。 スマートフォン対応など、ホームページのリニューアルを行った。
自己評価	年間を通して問題なく運用できたので「A」と評価する。
課題と改善策	より効果的な発信ができるよう、アクセス状況の分析を行う。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当

4 収益事業

センターの施設等の管理運営事業（公益目的事業の推進に寄与する事業）

一般市民などがセンターの施設等を利用するに当たり、相模原市条例に定める適正な料金のもとにサービスを提供し、利用者の便宜を図ることに努めた。

- (1) シェアードオフィス運営支援（NPO や企業などが市民活動、地域貢献活動の拠点として利用するシェアードオフィス（共用貸事務所）の利用者有料支援）
- (2) 会議室等の貸し出し（セミナールーム、ミーティングルーム、AV スタジオ、実習室、情報コーナー、マルチスペースの有料貸し出し）
- (3) 備品等の貸し出し（機械、映像機材、各種ソフト、備品の有料貸し出し）
- (4) 利用者サービス（コピーサービス（有料）、無線 LAN（Wifi-Spot）（無料））

5 管理運営

(1) 総会・理事会

ア 社員総会

	開催日	開催場所	内容
定時 社員総会	2019（令和元）年 6月18日	ユニコムプラザ さがみはら セミナールーム2	<審議事項> (1) 名誉会員の推薦について (2) 平成30年度収支決算(案)について <報告事項> ・ 会員の入会について ・ 会員の退会について ・ 平成30年度事業報告について ・ 2019（平成31）年度事業計画について ・ 2019（平成31）年度収支予算について ・ 諸規程の制定・改定について ・ 2019年度事業・組織体系について ・ 本店の公益目的事業の実施状況について ・ ユニコムプラザさがみはらの運営状況について
みなし 決議	2019（令和元）年 12月24日 （社員総会の決議があったものとみなされた日）		<みなし決議の事項> (1) 理事の選任の件

イ 理事会

	開催日	開催場所	内容
第60回 理事会 (定例)	2019（令和元）年 6月3日	相模女子大学 会議室2	<審議事項> (1) 会員の新規入会について (2) 人事について (3) 平成30年度事業報告(案)について (4) 平成30年度収支決算(案)について (5) 社員総会の議案について (6) 町田市ひとり親家庭等子どもの生活・学習支援事業の受託について <報告事項> ・ 各委員会開催結果について ・ 予算の進捗状況について
第61回 理事会 (臨時)	2019（令和元）年 6月18日	ユニコムプラザ さがみはら ミーティングルーム5	<審議事項> (1) 人事について (2) 定時社員総会の議案及び議事進行について
第62回 理事会 (臨時)	2019（令和元）年 9月10日	相模女子大学 会議室2	<審議事項> (1) 人事について (2) 2019年度補正予算(案)について (3) 諸規程の改定について (4) 人事評価制度について <報告事項> ・ 退会について ・ 各委員会開催結果について

			<ul style="list-style-type: none"> ・予算の進捗状況について ・業務執行状況について ・相模原市立市民・大学交流センターの管理運営に関するモニタリングについて
第63回 理事会 (臨時)	2019（令和元）年 12月10日	相模女子大学 会議室2	<審議事項> (1) 補充の理事候補者について (2) 人事について (3) 賛助会員について <報告事項> ・各委員会開催結果について ・予算の進捗状況について ・人事評価について
第64回 理事会 (臨時)	2019（令和元）年 12月27日	相模女子大学 会議室4	<審議事項> (1) 会長（代表理事）の選定について
第65回 理事会 (定例)	2020（令和2）年 3月10日	相模女子大学 会議室2	<審議事項> (1) 役員の選任に関わる推薦手続きについて (2) 諸規定の制定と改正について (3) 名誉会員の推薦について (4) 新規入会について (5) 人事について (6) 2020年度事業・組織体系（案）について (7) 職員の給与規定について (8) 2020年度事業計画書（案）について (9) 2020年度収支予算（案）について <報告事項> ・退会について ・各委員会開催結果について ・予算の進捗状況について ・業務執行状況について ・令和元年度第2回相模原市立市民・大学交流センター指定管理者選考委員会（モニタリング）について ・運営委員会・プロジェクト事業委員会委員の任期満了に伴う推薦手続き定について ・2020年度社員総会・理事会・運営委員会の開催日程について

(2) 委員会

ア 運営委員会

	開催日	開催場所	内容
第1回	2019（令和元）年 5月14日	ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2	<報告事項> ・2019年度事業計画について ・2019年度収支予算について ・法人の運営状況について ・業務執行状況について
第2回	2019（令和元）年 10月8日	ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2	<報告事項> ・賛助会員の新規入会について ・人事について ・2019年度補正予算について ・法人の運営状況について ・業務執行状況について ・相模原市立市民・大学交流センターの管理運営に関するモニタリング結果について

イ プロジェクト事業委員会

①さがまちカレッジプロジェクト

	開催日	開催場所	内容
第1回	2019年4月15日	相模女子大学 茜館催事場	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度さがまちカレッジⅡ期講座について ・さがまちカレッジ関連のイベントについて ・さがまちカレッジ企画書等の様式の見直しについて
第2回	2019年7月9日	相模女子大学 夢をかなえる センター English room	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度さがまちカレッジⅢ期講座について ・2020年度さがまちカレッジ開催スケジュールについて
第3回	2019年10月8日	相模女子大学 茜館催事場	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度さがまちカレッジⅣ期講座について ・2020年度さがまちカレッジについて
第4回	2020年2月4日	相模女子大学 マーガレット 本館 2121 教室	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度さがまちカレッジ企画提案について ・2020年度さがまちカレッジⅠ期講座について

②キャリア支援プロジェクト

	開催日	開催場所	内容
第1回	2019年9月13日	ユニコムプラザさがみはら マルチスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度 実施報告 ・今年度のキャリア支援プログラムについて ・最終就活特訓セミナー「さがまち就活塾 2019」について ・しごと探求セミナー2019について

附属明細書

事業における重要な事項は 2019（令和元）年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特にないため、当年度の附属明細書は作成しない。